SHALOM-NETWORK

発行：NPO 法人シャローム事務局

〒960-1241 福島県福島市松川町字東原 17-3　TEL ／ FAX　024-567-5322
Web　http://www.nposhalom.net　Email　info@nposhalom.net
発行責任者：大竹静子

今年のひまわり感謝祭開催について

十二月五日(土) A・O・Zで開催

ネット・動画を活用した感謝祭に

今年はコロナ禍の中で、子どもひまわり大使の派遣事業を始めとしてほとんどの交流イベントの中止を余儀なくされてきました。恒例イベントのひまわり感謝祭や共に生きる仲間たちのコンサートも例外とはいかない状況です。感染防止の観点から、会場となるA・O・Z（アオウゼ）の使用制限も厳しくなっています。

A・O・Z の多目的ホールは三密や飛沫の飛散を避けるため、舞台での合唱はできません。通常は二百人が入れる会場が定員五十人に制限されています。参加者の名簿を作成し、イベント後一ヶ月の保管義務も課せられています。参加団体への事前調査では、参加する障がい者施設等においても一般の人が集まるイベントや会議への参加は自粛しており、コンサートへの参加を辞退したい、イベント見学のため会場に引率することも難しいとの状況が明らかとなりました。

そのため、例年のように県外の皆様にも参加して頂き交流を深め、感謝祭とコンサートをみんなで楽しむ環境を作ることは困難だと判断しました。中止か、それ以外の方法で開催する方法はあるのか、活発な議論が行われました。その結果、コロナ禍の中でも協力者の皆様に感謝の気持ちを伝える方法として、ネットを活用したイベントとすることで方向性が固まりました。

地元学等をユーチューブで動画配信し始めていることもあり、ひまわりプロジェクトの活動を動画にまとめることに決まりました。動画を作り、全国の皆様へ配信するまでの過程を含めて「ひまわり感謝祭」といたします。

ひまわりプロジェクトの開始から多くの協力者様が「ひまわり感謝祭」に参加してくださいました。ゲストアーティストによるオリジナル曲も作られてきました。そこで、これまでに曲を寄せてくださったアーティストの皆様に協力して頂き、ビデオメッセージを繋ぎながら「ひまわりが繋ぐ架け橋」コンサートとして動画にまとめることといたしました。歌の間に栽培協力者の皆様の紹介、ひまわり油を仕事として行っている障がい者施設「ベーシック憩」の皆さんの紹介等を織り交ぜ「ひまわりプロジェクト」の取組みをわかりやすくご紹介する動画を予定しています。

すでに多くの皆様から栽培の様子が届けられ、ひまわりブログにも紹介されています。これからも楽しかった現場の話題、収穫の様子や苦労話など、皆様からのお便りを順次紹介していきたいと考えています。

十二月五日（土）は、動画製作に関わった関係者等で完成作品の試写会を A・O・Z で行い、終了後翌日以降にホームページから動画を視聴できるようにする予定です。ひまわりプロジェクトに関わるみんなが参加し、みんなで創る動画にしたいと計画しています。これまで実現できずにいた、ひまわりプロジェクト参加者の全員で創る「ひまわり感謝祭」。コロナ禍の中での動画制作を通じ、その姿に一歩近づくことができればと願っています。（T・O）

愛のメモ帳

シャロームの初代代表でシャロームの名付け親である小林牧師は、仙台市近郊の名取市に住み、九十七歳でも仙台市内で今も現役で説教をしている。年齢を重ね益々元気。久しぶりに話を聞きたいとお願いすると一人で電車で来てくださった。シャロームの活動も四十年以上になる。親の代の人たちが少なくなる中で、元気な姿を見るだけで生きていることの素晴らしさを感じさせる。

シャロームに込めた意味を改めて伺う機会となった。シャロームはヘブライ語で「平和」を意味する。その平和を作り出していくのは、和解であるとのこと。和解というと、多くの人は裁判所の調停などにおける痛み分けでの妥協点が和解と考える。しかし、ここでの意味は違う。それぞれの立場を考え、受け入れ、自己犠牲をともないながらも許し合うことなのだという。

戦争を体験し、人の生死に向き合い生きてきた人生の大先輩。「聖書はいまだに読み直すと新たな発見がある。」と、自分を教えてくれる。ひたむきに人生を生き続ける姿に見習いたい。（T・O）

ひまわりプロジェクト 2020

お便り紹介と山形ツアー報告

二〇二〇年度のひまわり栽培でも、長梅雨、酷暑、台風と、昨年同様に厳しい年となりました。また新型コロナの影響から、種をお配り頂くイベント～種の収穫まで三密を避ける必要が。閉鎖が続いた学校では、教職員の皆さまが種を植えてくださいました。自然災害と感染症と、私たちはより過酷な状況へと追いやられていくのではないでしょうか？

そうした中、全国の栽培協力者さまには、一生懸命にひまわりを育てて下さり、誠にありがとうございます。九月となり、収穫頂いた種を送ってくださるシーズンとなりました。ただでさえご苦労の絶えない日常にもかかわらず、福島の子どもたちや障がいを持つ就労継続支援施設の利用者さんのために善意をお寄せ下さり、心より感謝いたします。

◆ひまわり栽培協力者さまより頂くご連絡

栽培のご様子をメールで教えて下さる方も増え、楽しみに拝見しております。ブログにてご紹介しておりますので、どうぞご覧ください。また、種をお送りくださる際にお手紙を同封下さる方も多く、関係者一同、心温まり、励まして頂いております。今回の通信ではそうしたお声をご紹介し、皆さまの優しさを喜びあいたいと思います。

◆つながっていく取組みと共感

この「ひまわりプロジェクト」の活動では、福島から複合災害の教訓をお伝えする事も大事なテーマとしています。また、全国に広がるネットワークを活かし、栽培協力者さま同志がつながり合い、お互いを支え合う市民活動のネットワークへと深化していくことを目標にしています。災害が起こった時、どなたかが苦境に陥った時に支え合うネットワークにつながれば素晴らしいと思うのです。

今年度は、山口の栽培協力者Kさんが、京都の協力者Tさんとつながり、技術面の情報共有を含めて交流の機会を持ってくださいました。善意の応答が、更に次のステージに繋がっていく様子を、ブログにてご紹介しております。是非ご覧ください。（※八月二十九日版のブログ参照）

サレジオ学院 幼稚園の園児さん・職員さまより

山田養蜂場みつばち農園様からは「花が少ない夏季に蜜を集める花として役立った」とお知らせいただきました。

◆ひまわり大使が山形を訪問しました！

「ひまわり大使」関連では、今夏に予定していた「関西ツアー」を延期せざるを得ない状況となり、参加予定だった大使たちがガッカリしていました。

そこで、これまで数十回の自然体験ツアーでお世話になった山形県河北町の協力者Kさんに打診。急遽、一泊二日での短期少人数交流会を行うことができました。大使はかねてより準備していた作文を発表。最上川水害の被災現場も視察させて頂き、災害を期に始まった相互交流の大切さを改めて認識する時間となりました。

この際の作文発表の様子は、八月二十二日（土）に開催された滋賀県大津市のTさん主催イベント「花鈴人フェスティバル」でビデオ上映して頂きました。大使が参加予定だったイベントですが、プロジェクターなどをそろえて頂いたお陰で、ご来場の皆さまにご紹介頂くことができました。（※八月二十二日版のブログ参照）山形のKさん、滋賀のTさん、ご協力ありがとうございました！

（ひまわりPJ事務局・吉野）

▲山形訪問で作文を発表するひまわり大使。

ひまわりブログ　見てね！

URL http://shalom-net.jp/?cat=16

ブログ記事タイトル
2020 年 8 月 29 日
「亀岡の T さんから種を外す作業についてご連絡いただきました。」

ブログ記事タイトル
2020 年 8 月 22 日
「滋賀県の T さんより、『花鈴人サマーフェスタ』をご報告いただきました！」

【お願い】

新型コロナの影響に鑑み、今年の「ひまわり感謝祭」は映像報告での開催を検討しています。そこで、全国で栽培にご協力下さっている皆さまからのメッセージをお寄せ頂ければと思います。**写真・お手紙・ビデオメッセージ等々を是非、お送りください！**これまで「ひまわり」をテーマに歌を作って下さったミュージシャンの方々には歌とメッセージもご依頼申し上げています！お寄せ頂きましたメッセージは、映像集やホームページ、ブログ等でご紹介させて頂きます！

郵送またはメールでお送りください！
宛先
NPO法人シャローム
ひまわりプロジェクト事務局
〒960-8141
福島市渡利字鳥谷下町 67-1
ベーシック憩内
Mail　info@shalom-net.jp
締め切り　10 月 31 日（土）

教養講座 地元学を考える

第百九十七回「地元学を考える」（二〇二〇年六月二十七日開催）

「からだの痛み軽減体操」

講師　水戸　章さん

コロナがなかなか終息しない。人が集まるものは、密になるので避けるようにとの自粛要請に、地元学も自粛モードになっている。今回の水戸先生の講座は、からだの痛み軽減を簡単な体操でできる？初老に近づいている者にとっては、なんともありがたい話、いや体操。それが、参加制限で通常のような広報ができず、参加すれば皆さん喜んでくれただろうにと思いながら若干申し訳ない気がする。

コロナで毎月開催の記録は二ケ月ほど中断した。前回から再会したが参加人数を制限しながらの開催となり残念な状況が続いている。集まれないならこちらから動画で配信することで、これまで会場に来ることができなかった皆さんにも、いつでも見ることができるものになる。こうなればなんと素晴らしいことか。若いスタッフが頑張っている。初老の老人には、最近のテレビ会議やユーチューブ…にはなかなかついて行けないが、この講座も動画配信の準備を行っているということで楽しみにしている。

当日は、マットの上に寝っ転がり、先生の言われるままに動いていた。言われた通りにやっているつもりなのに、どこかが違う。右と左で動きが違う。言われるままの動作を繰り返していると、今まではとどかなかった位置まで手がとどく。寝ながら足首をつかんで回す。肘を立てて力を抜いて倒す。いつの間にか腰や肘の痛みが消えていく。毎日の生活の中でつくられる体のゆがみ、日頃使わなくなっている筋肉、無理せず静かに動かしてみることでこんなにも体が軽くなる。

水戸先生は、福島県新体操クラブの男子コーチで県北地区男子新体操の唯一の指導者、長身で動きに無駄がないことに一人で納得。これから筋肉をつけようなどとは考えず、今ある筋肉を動かすことが大切と言いながら、無理のない動作の繰り返しで筋肉が和らいでいくことを体感。

健康寿命を気にする年になってくると、元気で日々生活を続けられることが何よりの願いとなる。みんなで楽しく体を動かし語らう時間を持つことが、毎日毎日の健康寿命を延ばしていくことになる。みんなで集まり楽しく体を動かし語らうことができるようになるまでは、動画を見ながら、自分に合った体操を毎日続けられればと思う。（T・O）

第百九十八回「地元学を考える」（二〇二〇年七月十八日開催）

「子どものアイデアを実現するまち」

講師　七島　貴幸さん

去る七月十八日（土）午後、福島大学　地方創生イノベーションスクール二〇三〇福島チーム事務局長の七島先生を講師に迎え、標題のテーマのもと講義を聴講させて頂いた。

福島市の名物になるであろう、わらじをかたどった「福かつ弁当」をご存じであろうか？中高校生が中心となったチームで、企画立案・商品開発したもので、敢えて食べやすくカットされていない。その代わり非常に柔らかな肉を使い、噛みちぎりやすくしているという。わらじは福島市の「わらじ祭り」をイメージしたものであり、とんかつの形状にはこだわったという。

その〈もと〉になったのは、県外の方が「福島市の名物駅弁はなんですか??」という問いに周りの大人たちは、何も言い返せなかったとの事。その情報をキャッチし学生チームが課題解決を担ったのである。

大人が気にしないことも子どもからすると「なんで???」と気づくことが多々ある。それが、現状打破のヒントになりうる。しかし子どもの発想を実現するためには幾多のハードルがある。まずは子どもの小さな声に対し、受容し子どもの側に立ってくれる大人の数が必要になる。

そこで七島先生は、子どものアイデアを実現できるための課題を五つに分類された。

①未知への恐怖⇒今までやったことない子どものアイデアを具現化するための方策作り
②平行線⇒お金を稼ぐことに価値観を持っていない教員と逆にお金を稼ぐことに価値観を持っている企業人との溝をどのように埋めるか
③黒船襲来⇒のんびり屋の東京学生と実利主義の東北学生との温度差
④すれ違い⇒子どもと大人との価値観の違い
⑤中学教員（反対派）⇅高校教員（賛成派）との学生同士の恋愛について、である。

これらを全て地道な話し合いで解決されたとの事。七島先生の熱い気持ちが伝わるエピソードだ。次回の大きな活動として、アオウゼ多目的ホールでドローンを用いたプログラミング講座があるとの事。こちらもぜひ参加したい。

（まちなか夢工房　鈴木英生）

第百九十八回は、まちなか夢工房販売促進班の鈴木さんに感想を寄せていただきました。ありがとうございました。

▲産学官金連携で生まれた「福かつ弁当」。JR 福島駅の駅ビル「エスパル」で購入できるそうです。

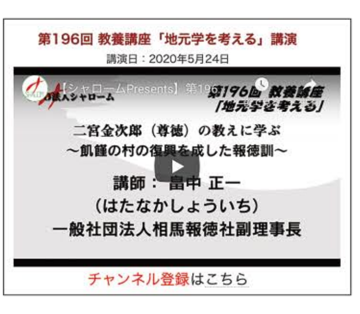
地元学講座 オンライン配信

遠方の方にも地元学をお楽しみいただけます。ぜひご覧ください。

YouTube チャンネル名
【公式】NPO 法人シャローム チャンネル

チャンネル登録と動画更新通知を ON にすると、最新のアップロード動画が見やすくなります。

◀シャローム HP のトップページに動画リンクがございます。



QR コードからもチャンネルをご覧いただけます

URL
www.youtube.com/channel/UCNqEo3kUXXGnUh036YJwJNg

活動のご報告

2020 年 6 月 26 日～9 月 20 日

6 月 27 日	第 197 回　地元学講座 「からだの痛み軽減体操」 講師　水戸　章さん
6 月 29 日	地域福祉・夢工房　福島市長へフェイスシールド贈呈式
6 月 30 日	憩〈販売〉いきいき！ふくしマーケット
7 月 6～17 日	夢工房〈実習〉福島養護学校
7 月 14 日	憩〈販売〉いきいき！ふくしマーケット
7 月 18 日	ひまわり〈交流〉生活クラブ生協さん来訪 第 198 回　地元学講座 「子どものアイディアを実現するまち」 講師　七島　貴幸さん
7 月 21 日	事務局　スペースラブリ棚卸し
7 月 30 日	憩〈販売〉いきいき！ふくしマーケット
8 月 1 日	地域福祉　3D プリンター体験会 憩〈販売〉いきいき！ふくし夏祭り
8 月 3 日	夢工房・楽膳「ピンチをチャンスにプロジェクト」お披露目会参加
8 月 5 日	地域福祉　ワーキンググループ実施
8 月 20 日	夢工房〈販売〉ビーンズふくしま夏祭り
8 月 20～21 日	ひまわり〈交流〉子どもひまわり大使山形ツアー
8 月 21 日	事務局　スペースラブリ棚卸し
8 月 22 日	第 199 回　地元学講座 「笑顔美人ココロ美人 ～笑顔は自分のため皆のため」 講師　二階堂　み由紀さん
8 月 29 日	地元学番外編 「ラジオ体操」　講師　水戸　章さん
9 月 6 日	第 200 回　地元学講座（Zoom 開催） 「大切なもの　命・平和・教育」 講師　永遠瑠　マリールイズさん
9 月 10 日	地域福祉　ワーキンググループ実施
9 月 19 日	憩〈販売〉いきいき！ふくしマーケット
9 月 20 日	夢工房〈販売〉軽トラ市

活動予定

2020 年 9 月 21 日～10 月 20 日

9 月 21 日	事務局　スペースラブリ棚卸し
9 月 22 日	夢工房〈販売〉とっておきの音楽祭
10 月 8 日	ひまわり〈交流〉生活クラブ生協さんミニ学習会参加（Zoom 開催）
10 月 10 日	ひまわり〈交流〉東陵高校（福島）と岡山県笠岡市「ひまわりプロジェクト委員会」交流会（Zoom 開催）

NHK 連続テレビ小説 エールの故郷 ふくしま
夢詰麦 食パン 夢 YUME TUMUGI
予約受付スタート！ 1本（2斤）1500円（税込）
NATURAL YEAST FROM PEACH！
ふくしまが生んだ昭和を代表する作曲家、古関裕而（こせきゆうじ）。
古関さんも故郷ふくしまの果物が大好きだったそう。
福島産桃から酵母を起こした
世にも珍しい天然酵母食パンができました。
手作りパン　まちなか夢工房　受注生産　ご予約はこちらまで！
福島県福島市本町 5-31　TEL 024-524-2230
MAIL yumekobo@shalom-net.jp　WEB http://yumekobo.shalom-net.jp

教養講座 地元学を考える　第二百一回 予告

福島の民話を語る

〈講師〉渡部　八重子氏（ふくしま民話茶屋の会　会長）
〈日時〉2020 年 10 月 31 日（土）　13:30～15:00
〈場所〉まちなか夢工房 2 階
〈参加費〉500 円
〈定員〉先着 10 名

＜講演内容＞
昔は情報交流の手段は自分たちが話すこと、聞くことが基本で口伝が当たり前でした。子どもの頃はお伽噺や伝説、嫁と舅の話もたくさん聞きました。キツネやタヌキ，ヘビに例えて、人間のあるべき姿を次の世代に語り聞かせることで繋いでいたのでしょう。

＜講師プロフィール＞
昭和 11 年、河沼郡湯川村（旧勝常村）生まれ。昭和 32 年大和農芸家政短大（現大和学園聖セシリア短大）卒業。昭和 32 年から平成 8 年まで JA 福島中央会に勤務。やがては JA を超えて、「ふくしま市女性団体連絡協議会」の 3 代目会長を勤め、消費、健康、文化、政治と、多様な面から市全体での女性の地位向上に務める。2001 年に、「うつくしま福島未来博覧会」が開催された際、パビリオンの一つ「からくり民話茶屋」の語り部養成講座を受けることになり、「ふくしま民話茶屋の会」会長、語り部となる。

新型コロナウィルス感染拡大防止のため、現地での参加人数を制限しますが、シャロームの公式ユーチューブチャンネル（http://nposhalom.net/）より後日配信いたします。